

建設副産物対策近畿地方連絡協議会(事務局・近畿地方整備局企画部)は、2011年度近畿建設リサイクル表彰の受賞者を決めた。会長賞として大林道路・奥村組土木興業・東亜道路工業・NIPPO・佐野正典近大教授のグループ(技術開発研究部門)ら3件と奨励賞6件を選んだ。3月8日に大阪市西区の建設交流館で開く建設リサイクルシンポジウムの中で表彰式を行う。

表彰は、近畿地方で建設リサイクルの推進を自主的かつ積極的に取り組んでいる個人、団体、

近畿建設リサイクル表彰

会長賞に大林道路Gら

事業者を表彰する制度。3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みを充実させ、循環型社会の構築に向けた行動の輪を広げることを狙いとして10年度に創設した。

建設副産物連絡協

今回は、7機関から11件の推薦があり、審査の結果、会長賞3件、奨励賞6件を選んだ。受賞者の概要は次のとおり(①受賞テーマ②工事場所・再資源化の所在地)。

技術開発研究部門
会長賞

▽大林道路大阪支店、奥村組土木興業環境開発本部、東亜道路工業関西支店、NIPPO関西支店、佐野正典近大教授①排水性舗装混合物の100%リサイクル技術の研究②大阪府。

施工部門

奨励賞

▽鴻池組・脊名建設JV①狭小な敷地のビル建設における積極的な3Rの取り組み②神戸市中央区。

▽鹿島新千里北町工事事務所①建設副産物のリサイクル率100%達成(混合廃棄物搬出ゼロ)による環境配慮型現場運営の推進②大阪府豊中市新千里北町。

再資源化部門

会長賞

▽オーシロード①「循環型社会に貢献する」改良土、再生砕石

▽大松土建①産業廃棄物中間処理施設をインターネットでリアルタイムに公開するなど、先進的な環境経営を実践②大阪市西淀川区。

▽都市再生機構西日本支社①建替団地周辺小学校へリサイクル授業(リサイクルスタディ)の実施②大阪府城東区。

▽内村興産①建設副産物適正処理推進要綱を考慮した生産活動および品質管理②奈良県生駒市北田原町。

▽三太建設①下水汚染スラックと廃棄瓦の再生路機材(SKR-30)②滋賀県栗東市御園。

建設通信新聞
平成24年2月20日掲載